

# 操業・経営の合理化

(水産課)

## 1 目 的

漁業用燃油や資材の高騰などにより操業コストが増大していることから、ICTを活用した新しい操業形態の創出や、省エネ操業などのコスト削減対策を進めるとともに、水産カレッジにおいて経営感覚の優れた漁業者を育成し、操業と経営の合理化を促進する。

## 2 事業内容

### (1) ICTの活用

#### ○海況情報提供事業

- ・計画的な操業体制への転換を図るため、潮流や水温などの海況情報をリアルタイムで配信するとともに、1週間先の予測情報を漁業者に提供

#### ○定置網漁業の最適化技術開発（再掲）

- ・計量魚群探知機を用いて定置網内の魚群の行動を明らかにし、漁獲量が最大になる操業技術を開発

### (2) 低コスト操業の推進

#### ○浜の活力再生プラン等支援事業

- ・活〆や神経抜きによる魚価アップ、低速航行などによるコスト削減を地域ぐるみで行う「浜の活力再生プラン」の策定に対して支援を実施

#### ○省燃油活動推進事業

- ・漁業者グループが行う低速航行や船底清掃などの省燃油活動に対して支援を実施

#### ○省エネ機器等導入推進事業

- ・漁業者グループが行う省エネエンジンなどの整備に対して支援を実施

### (3) 経営力の高い若手漁業者育成

#### ○海の担い手育成対策事業

- ・新規漁業就業希望者に対する漁業体験、実務研修を実施
- ・ふくい水産カレッジにおいて、独立自営を目指す新規就業者を対象とした研修（漁船漁業、海女、養殖の3コース）を実施
- ・収入の不安定な新規就業者に対し、無利子での貸付金を貸与
- ・指導漁業士などの下で実践的な里親研修を受講する45歳未満の就業希望者に対し、本県独自に給付金を支給